

# 三重の中山間地にある水稲で水田全体が不稔となった現象はクモヘリカメムシの加害が原因でした

利用対象：水稲生産者等

## 背景・目的

- 県内の中山間地の水田で不稔稲の発生が多かった。特に不稔の発生が多い水田では収穫が皆無になる事例も認められました。当該水田は周囲より出穂期が大幅に遅く、農薬を使用していません。
- これらのほ場ではクモヘリカメムシが多発していたことから、不稔の原因がクモヘリカメムシかどうか明らかにしました。

2013年に全体が不稔となった水田



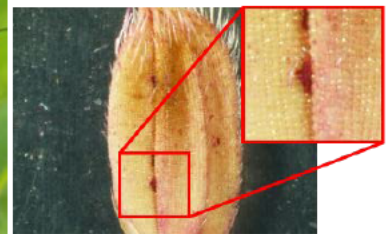
調査すると...



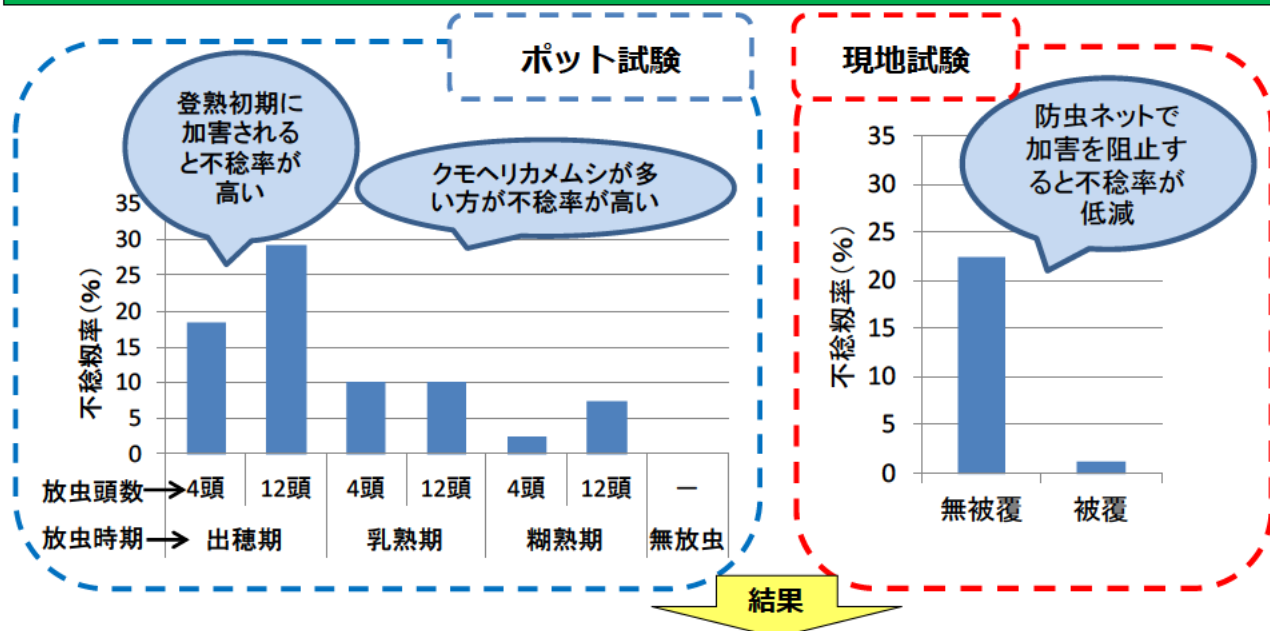
クモヘリカメムシが多発!

クモヘリカメムシによる吸汁跡を確認!

(写真は赤く染色した口針鞘)



## 水稲不稔の原因が、クモヘリカメムシによるものか再現試験を実施



## 水田全体の不稔の原因は、クモヘリカメムシによる登熟初期の籾への加害です

※ただし、今回全体が不稔になった水田は周囲より出穂期が遅く、農薬を使用していません

お問い合わせ先	農産物安全安心研究課 大仲 桂太、西野 実 電話 0598-42-6360 中央農業改良普及センター 西方 陽介 電話 0598-42-6715
参考になる資料	三重農研HP: <a href="http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm">http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm</a>